



▲ジュニアリーダーの皆さんは、子どもたちに負けないくらいパワフル！



▲子どもたちと一緒に楽しんだ南陵高等学校の皆さん

「今年役員が大勢入れ替わって大変でしたが、基礎がしっかりできていたので、今まで通りうまくできました。これからさらにお祭りを盛り上げ、そして藤野地区を盛り上げて行くためにも、新しい人たちにどんどん祭り作りに参加してほしいですね」と満足そうに話していました。



▲ステージには屋根が掛かりました



▲今年も大成功！

地域や人とのふれあいが人生の糧となる

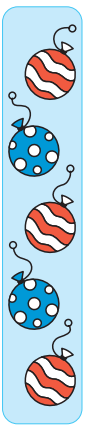
「みんなー、手つなぎ鬼をやるよ。捕まらないように頑張つて逃げてねー」とボランティアから元気な声が掛かると、日焼けた子どもたちが一斉に駆け出し、歓声が響き渡りました。
ステージ裏の広場では、子どもたちとこうした楽しいゲームをし



若い世代にも、地域とのつながりの大切さが浸透しているのです。

「どんなゲームをするかは、自分たちで考えます。子どもたちの喜ぶ顔を見るとうれしくなります」。ボランティアを募集していることを知り、自ら希望して参加した札幌南陵高等学校三年生の五人は「思っていた以上に子どもたちが楽しんでくれてよかったです。地域とふれあえる貴重な経験ができました」と生き生きと話していました。

遊ぶ、ボランティアの中高校生九人が活躍。
子ども会のジュニアリーダー四人は、今までもいろいろな行事に参加しているだけに、子どもの相手はお手のもの。



まちづくりには 団結力と まちを愛する心

「ステージには念願の屋根が掛かり、お祭りは大成功。今年実行委員長をやれてよかったと思えます」と、お祭りを振り返り話してくれたのは藤野地区町内会連合会長の田中義一さん。田中さんも長年に渡り祭り作りに携わってきました。

お祭りの裏方の人たちは、誰もが楽しそうに輝いていました。今度はあなたも祭り作りに参加しませんか。きつと、今まで以上に自分のまちが好きになることでしょう。



▲お祭りの翌日、みんなで協力して後片付け

